

特定非営利活動法人 日本障害者スキー連盟

平成15年度 第1回常任理事会 議事録

日 時 平成15年9月20日(土) 9時45分～12時30分
場 所 深川スポーツセンター スタッフルーム
出 席 田村、伊佐、目黒、安江、田中、荒井、斉藤、平野(敦)、野村
オブザーバー：佐藤理事(アルペン監督)
欠 席 野澤、秋田、坪井
記 録 齊藤(事務局総務)

田中常任理事挨拶

田村会長挨拶

資料差し替え P.25、P.57、P.60、P.61、P.63、P.64、P.75、P.76 別途配布資料に差し替え

平成14年度第5回常任理事会議事録確認

報告事項

1. 平成15年度競技者登録 P.11～

平成15年度競技者登録に関して、8月31現在で申し込みのあった選手は資料の通りである。

協議事項

1. 平成14年度事業報告及び会計報告 資料P.19-34

平成14年度の会計財産目録は資料P.19の通りである。また、P.22は会計収支計算書である。本年度は、連盟がNPO法人としてはじめて迎える会計報告であるため、平成13年度とは会計報告の形式が異なる。

収支計算書について、東京都への提出資料はP.22のみであるが、P.22のみの資料では理事会及び定期総会会議資料としては内容不足のため、理事会と総会時の資料としてP.23-24の資料、また詳細を記した収支報告書P.27-28を添付する。

資料P.29-30は連盟通帳普通預金上の出納帳である。この出納帳の合計額53,141円に小口現金を加えると、56,747円になる。ゆえに、平成14年度の繰越金は、56,747円となる。

資料P.26は会計貸借対照表である。平成14年度に借り入れした750,000円は、単年度返済予定の借入金であるため、流動負債とする。

国内合宿費に関して、スポーツ協会を通じて医療事業団への報告義務のあるものは、連盟名で領収書の取れないものがあり、こうした助成金については、基本的に連盟の本会計予算にも入れないこととする。承認。

2. 15年度事業計画及び収支予算

平成15年度役員名簿案 資料P.18

12番にある平野理事を常任理事に、かつ平成15年度から設置される予定の事業部部長をしていただく。承認

11番にある野村常任理事の選出母体を、日本障害者クロスカントリースキー協会から日本知的障害者スポーツ連盟とする。承認

25人目の理事をクロカン協会から選出する。承認

各理事が各部を担当する、理事担当制を導入する。各理事の担当内容は再度検討することとし、理事担当制を用いることは承認。

15年度事業計画及び収支予算 資料P.35-37

(1) 強化部事業 資料:別紙強化部資料参照

- ・03-04 シーズントレーニング・遠征・事業計画について資料参照。03-04 シーズンも菅平トレーニング構想を中心にトレーニング計画をしている。また、平成15年度は是非1度東北地区でトレーニングを行いたい。承認
- ・世界選手権、ワールドカップ、ヨーロッパカップに出場資格のある16名の選手数は、今後選手の参加意思によって減ることはあっても増えることはない。また、引率スタッフは現在7名としているが、最低7名と考えているので今後増えることも考えられる。承認
- ・ワールドカップ、ヨーロッパカップ等に必要となる費用は、全て参加選手で頭割り負担とする。承認
- ・03-04 シーズンのSAJDポイント制度について、資料参照。この新ポイント制度については、2004年1月初旬に白馬で開催するポイントレースから用いる。承認
- ・03-04 シーズンの強化指定選手数は35名である。別紙資料参照。今後強化部で強化指定選手に対して、また強化指定以外の競技登録者に対して、どのようなサービスを行っていくのか、検討する。また、強化指定選手数によってSAJDポイント100ポイント以内という基準を変えることはない。
- ・03-04 シーズン強化指定選手選考基準、03-04 世界選手権派遣候補者選考基準に関しては、資料参照。承認
- ・03-04 シーズンの強化部スタッフに関して、資料の強化部スタッフ名簿の通り考えている。強化部員に挙げられている野平、藤井、斎藤に関しては、02-03 シーズン菅平を中心に強化部をサポートしてくれた人員であるため、03-04 シーズンからは正式な強化部員としたい。
強化スタッフ名簿のはじめに、目黒アルペン部長の名前を明記すると共に、メカニック他のスタッフについても固有名詞が確定していなくとも、名簿欄を作成する。また、名簿の所属名称に対しての連盟として依頼文を送付するため、所属名および依頼状の必要の有無を再度各個人に確認すること。

強化部は各資料に関して文言を整理し、選考基準等を明確にする。

世界選手権、ワールドカップ、ヨーロッパカップに関して、個人で参戦希望する選手にどのような対応をするか、強化部で検討する。こうした結果を明文化し連盟ホームページにアップする等情報を開示する。

(2) 普及部事業 資料:別紙普及部資料参照

平成 15 年度の障害者スキー指導法講習会の日程が変更した。 3 月 7 日- 8 日に行う。
参加定員を 20 名から 30 名にする。 承認

(3) 事業部事業 資料:別紙 JP 資料参照

JP2004 開催に伴い、9 月 3 日より妙高高原にて JP2004 開催検討会議が行われ、本連盟から目黒、平野(敦)、花澤、河井、長谷部の 4 者が出席した。JP2004 開催検討会議議事録、JP2004 競技運営打合せ議事録は資料参照。

JP2004 日程案として、大会期間を 2 月 20 日-24 日とする。また、アルペン競技コースオープンを各日の朝からすることとする。

承認

(4) 15 年度事業計画及び収支予算 資料 P.37

平成 15 年度の会計収支予算書案を資料の通りとする。

会費は団体会員として各正会員団体から 10 万円、また個人会員として理事 20 名から 1 万円の年度会費集め正会員とする。ただし、派遣理事についてはこの限りではないので、規程に「理事会の承認があれば会費を免除することができる」といった文言を盛り込む。

資料のうち、国内合宿費を収入に計上していたが、会計報告の関係から、収入と支出から削除し、500 万程度の予算組みとする。 承認

3. スポーツコーチ協議会役員派遣について 資料 P.38

スポーツコーチ協議会より本連盟宛に、スポーツコーチ協議会役員として群馬県立ふれあいスポーツプラザの大塚氏を推薦して欲しいとの依頼文が届いた。(スポーツコーチ養成講習会受講者推薦団体が、HSAJであった。)

本連盟ではこの件について、現在大塚氏は本連盟に直接関与していないものの、今回の推薦を機に今後は連盟の活動にも積極的に協力して欲しいと伝える事をお願いした上で推薦する。 承認

4. 平成 15 年度定期総会に関して

今月 28 日に行われる代議員総会の議長を、今年はチェアスキー協会に依頼したいと考えている。チェア協会で検討する。

5. スキージャーナル記事について 資料 P.48-49

スキージャーナル記事に関して資料参照。

6. スポーツ仲裁機構について 資料 P.58

過日スポーツ仲裁機構に報告した選手宣誓書について、スポーツ仲裁機構から資料の通りメールにて返信があった。各自参照願いたい。

強化部ではこのことを踏まえ、選手選考等についてきちんと明文化し選手に説明することができるよう、資料をそろえる。

次回以降の会議日程は理事会にて連絡する。

以上